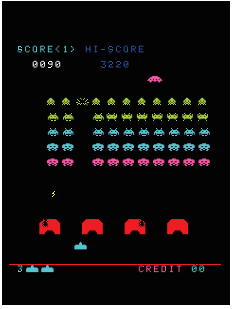


名古屋博物館

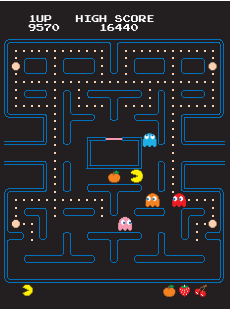
1階展示室 特別展・企画展

6/1
|
8/29

特別展
ゲーセンミュージアム
～この夏、博物館はゲームセンターになります。～



スペースインベーダー
© TAITO CORPORATION 1978, 2021
ALL RIGHTS RESERVED.



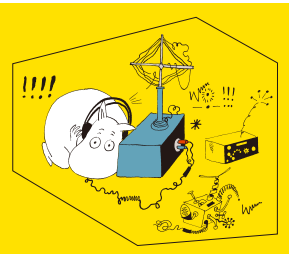
パックマン
© BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

みなさんはゲームセンターで遊んだことがありますか。博物館では今回、ゲームセンターを遊び場のひとつとして考え、デパートの屋上、ボウリング場、インベーダーハウス、喫茶店、駄菓子屋、大型ゲームセンターといったゲームができる遊び場を紹介します。ゲームはピンボール、スペースインベーダー、パックマンなどなど。展示するほぼすべてのゲームがプレイ可能な大規模展です。

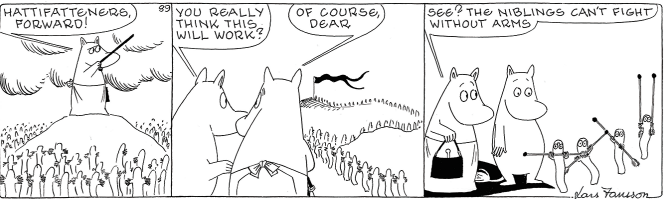
協力：日本ゲーム博物館(小牧ハイウェイ企画)

9/11
|
11/14

特別展
ムーミンコミックス展



ムーミンの生みの親トーベ・ヤンソンと、弟のラルス・ヤンソンが共作した「ムーミンコミックス」は、イギリスの夕刊紙で20年余り連載されると世界中で人気を博し、今日の人気につながっていきました。本展では約280点にも及ぶ日本初公開のスケッチや原画などを通じて、楽しく奥深いムーミンたちの豊かな世界とその魅力を紹介します。



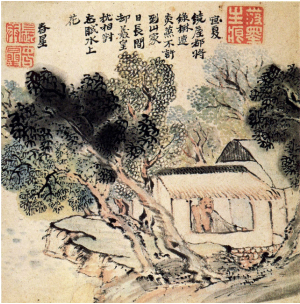
ラルス・ヤンソン「MOOMINS IN BATTLE」原画(1974年、インク、紙) ©Moomin Characters™

12/4
|
1/30

特別展
大雅と蕪村 - 文人画の大成者 -



池大雅『十便図』(川端康成記念会蔵)より「課農便図」



与謝蕪村『十宜図』(川端康成記念会蔵)より「宜夏図」
※「十便図」および「十宜図」は会期中真替いたします

日本を代表する文人画家として名高い池大雅と与謝蕪村。両者が競演した国宝『十便十宜図』(明和8年・1771)は、鳴海宿(現名古屋市長区)の豪商・下郷家が所蔵していたことで知られます。本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、大雅と蕪村それぞれの名品を紹介し、個性あふれる文人画の魅力に迫ります。

3/8
|
5/8

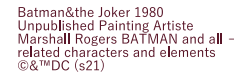
特別展
DC展
スーパーヒーローの誕生



Batman/V Superman Dawn of Justice 2016 Superman Costume worn by Henry Cavill™ & © DC Comics. (s21)



Sensation Comics #16 Cover 1943
Artist Harry G. Peter DETECTIVE COMICS and all related characters and elements ©&™DC (s21)



Batman&the Joker 1980
Unpublished Painting Artist Marshall Rogers BATMAN and all related characters and elements ©&™DC (s21)



世界的に人気を博すバットマンやスーパーマン、そして近年大人気となったジョーカーなどを生み出したアメコミ出版社・DC。貴重な出版当時のコミックや設定資料、映画の衣装や小道具などから、時代とともに形を変え、オリジナルのキャラクターと物語を作り続けるDCの80 年以上の歴史とその魅力に迫ります。

2階展示室 常設展「尾張の歴史」 16のテーマに沿って尾張の歴史を紹介するとともに、展示室の一部では、以下のスケジュールで特集展示をおこなっています。

フリールーム

テーマ10
近世尾張の歴史

テーマ16
まつり

3/24 4/25 4/28 6/20 6/23 8/22 8/25 10/24 10/27 12/19 12/21 3/21

描かれた宮宿

歌川広重
東海道五拾三次之内 宮 熱田神事

宮宿(現名古屋市熱田区)は、東海道の宿場のひとつとして浮世絵の画題となっています。名所絵として江戸の浮世絵師たちが宮宿をどう描いたか、その傾向を探ると同時に、名古屋の人々が捉えた宮宿の風景も紹介します。

※フリールーム・テーマ10の共通展示です

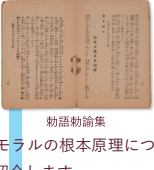
朝日遺跡 弥生の大集落遺跡



二反地貝塚出土資料

弥生時代の遺跡として日本を代表する朝日遺跡。多くの調査のなかで初期に行われた二反地貝塚の出土品を初公開。その後の調査資料もあわせて朝日遺跡の魅力を紹介します。

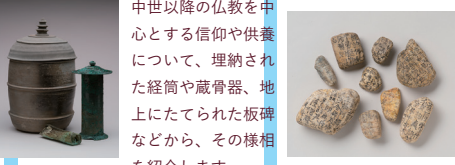
教育勅語



勅語勅諭集

明治天皇から発せられた「教育ニ関スル勅語(教育勅語)」。先の大戦後、国会において排除・失効確認がなされ、現在ではその内容を目にすることはほとんどなくなりました。この戦前日本のモラルの根本原理について、当時の社会でのありようを紹介します。

中近世の埋納品と石造物



経筒、経巻、経筒外容器
多字一石経

中世以降の仏教を中心とする信仰や供養について、埋納された経筒や蔵骨器、地上にたてられた板碑などから、その様相を紹介します。

新発見！館蔵考古資料展



高蔵1号墳出土須恵器

館蔵考古資料のなかから、近年の新収資料と、研究成果による新知見を紹介します。未公開の考古資料が多数登場します。

なごやのうつりかわり



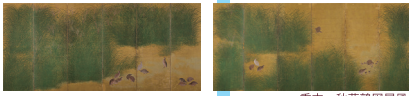
千種台住宅地



名古屋で最初の地下鉄

「交通」「道具」「くらし」などのテーマについて、明治時代から現在までの間にくらしを変えたできごとを紹介し、名古屋人や人々の生活がうつりかわる様子をたどります。

屏風の名品



重文 秋草鴉図屏風

「秋草鴉図屏風」(展示期間:11/30～12/26)と山本梅逸筆「梅花叭々鳥図屏風」(展示期間:1/4～1/23)を展示します。特別展「大雅と蕪村」とあわせてお楽しみください。

郷土玩具の旅



龍泉寺の首馬

祭りや行事を題材とし、またそこで配布される郷土玩具は、土産物としても人気がありました。旅をしているかのように、各地の郷土玩具に出会える展示です。

春の行事



ひな人形

お正月が終わり、春へと向かうころ、あなたの家では何をしますか？ 節分やひな祭りなど春に行われる行事を紹介します。

4/28 6/20 6/23 8/22 8/25 10/24 10/27 11/21

御歌所の歌人の書



大口周魚筆短冊「すみたかは…」

皇族の作歌や歌会始に関する事務を司っていた御歌所で活躍していた名古屋出身の歌人たちの書作品から、彼らの業績や当時の書道史研究の様相を紹介します。

和歌と絵画



森高潜 五色和歌絵押絵貼屏風 部分

日本の代表的な文芸である和歌は、絵画と密接な関係をもっています。江戸時代の文献資料と絵画作品を中心に、和歌と絵画の関係を紐解きます。

慶長の朝鮮出兵



豊臣秀吉朱印状(慶長3年) 3月18日付

豊臣秀吉は、一時休戦していた朝鮮半島への侵攻を慶長2年(1597)に再開します。『豊臣秀吉文書集』編集作業の成果から、秀吉にとって生涯最後の戦となった朝鮮出兵を紹介します。

宮脇綾子の布あつめ 藍染めへの想い



掛布団地

創作アププリケ作家である宮脇綾子。個性的な作品を作るうえで欠かせないのが、藍染めの布地や着物でした。宮脇綾子が一時期に各地を訪ねて集めた着物や布地を紹介します。

3/24 4/25 4/28 6/20 6/23 8/22 8/25 10/24 10/27 11/21

古文書で読む東照宮祭



御祭礼置

戦前まで名古屋の春の風物詩だった名古屋東照宮祭。江戸時代の古文書・古記録から当時の様子を紹介します。

五月人形



五月人形

東京出身のとある一家。お孫さんが名古屋で男の子を産み、五月人形を買うことに。松坂屋百貨店でおすすめされたのは、東京では見たことのない人形でした。

祭りの食文化



ちらし寿司の食品サンプル

地域の祭りや家庭の行事が行われる日には、普段とは異なる食事をとることが楽しみでした。すし、雑煮、おこしものなど、地域や家庭で伝えられてきた食文化を紹介します。

中村区二福神車のからくり人形



恵比寿・大黒 (二福神車保存会蔵)

10月第2土日に行われる中村区の花車神明社のお祭り。そこで登場する二福神車のからくり人形を紹介します。愛嬌のある恵比寿と大黒の姿をお楽しみください。

清水中之切のからくり人形



石橋車の面かぶり唐子人形 (清水中之切蔵)

かつて北区清水の八王子神社天王祭で曳き出されていた石橋車(戦災で焼失)。辛くも戦火を逃れたそのからくり人形を紹介します。

* 画像のうち特に表記のないものは名古屋市博物館・名古屋市蓬左文庫・名古屋市秀吉清正記念館の収蔵品です。

イベント・セミナー 要事前申込の事業は名古屋市電子申請サービス(https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/)にてご応募ください。詳しくは博物館ウェブサイトをご覧ください。参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要な方は、事前申込の事業は申し込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談ください。

歴史体験セミナー(参加費無料)

むかしのおもちゃで遊ぼう
7/17(土)～8/29(日) 開館日の9:30～17:00 会場:1階展示説明室前

正月のおもちゃ
12/14(火)～1/23(日) 開館日の9:30～16:30 会場:2階常設展ロビー

歴史体験セミナー(要事前申込 参加費1人400円)

自分だけのまが玉づくり
8/21(土)・22(日) 各日2回 (1)10:00～11:30 (2)14:00～15:30
定員各回30人(小学校3年生以下は要保護者同伴) ※申込期間:8/1～8/20

ミニ屏風をつくろう
9/18(土) (1)10:00～11:30 (2)14:00～15:30
定員各回30人(小学校以下は要保護者同伴) ※申込期間:8/29～9/17

はくぶつかん講座(要事前申込 聴講無料)

当館学芸員が講師をつとめる講座です。10:00開講(9:30開場)。各回50人。各講座の申込期間についてはウェブサイトをご確認ください。

第1回 4/24(土) 描かれた宮宿

第2回 5/1(土) 御歌所の歌人の書

第3回 5/22(土) 高力猿猴庵と安永大洪水

第4回 6/26(土) 日本美術と和歌

第5回 7/3(土) 教育勅語の時代

第6回 9/4(土) 晩年の秀吉

第7回 9/25(土) 埋納品と石造物からみた信仰と供養

第8回 10/30(土) 宮脇綾子が集めた藍染め

第9回 11/6(土) 館蔵考古資料の最新成果

第10回 2/12(土) 名古屋の中のうみやま

各種イベント

当館で開催する様々なイベント。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

はくぶつかん
クイズラリー

7/28(水)～8/22(日)

常設展でクイズラリーを開催します。
※常設展観覧料が必要

はくぶつかん
古書市

12/11(土)～12/19(日)

郷土書・歴史書中心の
フェアです。
※入場無料

考古学セミナー

共催:愛知県埋蔵文化財センター

12/11(土)・12(日)

愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。
※入場無料

本年度の事業計画は新型コロナウイルス感染症等の影響により、今後変更される場合があります。最新情報はウェブサイトかFacebook、Twitterをご確認ください。

ご来館の際は、ウェブサイトの「当館の新型コロナウイルス対策について」をご一読の上、感染防止対策にご協力をお願いします。

名古屋市蓬左文庫

4/18

企画展

うるわしき花と鳥



古から人の心を潤してきた花と鳥。四季を表す指標として、また洗練されたデザインとして花と鳥を写し込んだ絵画や工芸品を紹介します。

企画展

あかがね/くろがね



丸木橋図三所物 無銘 祐典(後藤家初代)名物 徳川美術館蔵

銅(あかがね)・鉄(くろがね)という金属素材に着目し、武家の人々のこだわりが詰まった作品を紹介します。刀装具や茶道具など、実用性と装飾美を兼ね備えた多彩な輝きをお楽しみください。

夏季特別展

家康から義直へ



天下統一を果たした徳川家康と、泰平の世に尾張国統治を任された家康の息子義直。義直へ受け継がれた治世方針に焦点をあてながら、二人の生涯を、遺品や史料などから読み解きます。

秋季特別展

尾張姫君ものがたり



将軍家をはじめとする名家から嫁ぎ、御三家筆頭の尾張徳川家の歴代藩主を陰で支えた女性たち。正室や側室・娘たちゆかりの品々を展示し、その生涯を紐解きます。

企画展

唐絵 一尾張徳川家の中国絵画―



「東山御物」をはじめとする尾張徳川家伝来の中国絵画を初めて全点公開し、大名家の筆頭であった同家における中国絵画受容の様相に迫ります。

重文 遠通帰国 玉瀧筆 名物 徳川美術館蔵

名古屋市秀吉清正記念館

3/13

特集展示

秀吉と清正の絵物語 中編



記念館所蔵の絵画シリーズ「秀吉と清正の絵物語」を展示します。天正10年(1582)の大徳寺葬儀から、天正18年(1590)の小田原攻め、天下統一までを紹介します。

5/9

特集展示

秀吉と清正の絵物語 後編



記念館所蔵の絵画シリーズ「秀吉と清正の絵物語」を展示します。天正20年(1592)に始まった文禄の役から、慶長20年(1615)の大坂夏の陣までを紹介します。

7/17

夏休み特集展示

豊臣秀吉の合戦



夏休み期間の小中学生向け企画です。豊臣秀吉が得意とした戦法や、人物像などを紹介します。自由研究にご活用ください。

9/20

夏休みみ特集展示

豊臣秀吉の合戦



夏休み期間の小中学生向け企画です。豊臣秀吉が得意とした戦法や、人物像などを紹介します。自由研究にご活用ください。

10/9

秀吉清正記念館30周年 特別陳列

近江木下家資料展



高台院(秀吉の正室、ねね)の養子、木下利次を初代とする近江木下家は、秀吉所用の品々を数多く伝えてきました。その中から代表的なものを紹介します。

12/5

館内点検のため休館します

12/14

秀吉清正記念館30周年 特集展示

武将 加藤清正



加藤清正は、数多くの戦国武将の中でも、トップクラスの人気を誇ります。清正の武人としての魅力や、没後に「清正公」という神として信仰された様子を紹介しします。

2/20

秀吉清正記念館30周年 パネル展

中村公園いまむかし



記念館が位置する中村公園は、明治36年(1903)、豊臣秀吉の生誕地を記念する公園として、開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介しします。

3/5

秀吉清正記念館30周年

中村公園いまむかし



記念館が位置する中村公園は、明治36年(1903)、豊臣秀吉の生誕地を記念する公園として、開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介しします。

5/29

秀吉清正記念館30周年

中村公園いまむかし



記念館が位置する中村公園は、明治36年(1903)、豊臣秀吉の生誕地を記念する公園として、開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介しします。

■ 博物館利用案内 ■

名古屋市博物館は1977(昭和52)年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
電話 052-853-2655 FAX 052-853-3636

- 開館時間 9時30分～17時
(入場は16時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)
毎月第4火曜日(祝日を除く)
館内点検休館(11月22日～29日)
年末年始休館(12月27日～1月3日)
- 観覧料 (常設展) ※()内は30名以上の団体料金。高大生・中学生は学生証の提示が必要。
市内在住の65歳以上の方100円(要敬老手帳等)。
※特別展・企画展はそのつど定めます。
- 交 通 【名古屋駅より】
地下鉄桜通線で17分「桜山」下車
4番出口から南へ150m
エレベーターをご利用の方は
3番出口から南へ400m
【金山バスターミナルより】
市バス金山14系統(桜山経由)
「博物館」下車
- 駐車場 普通車:1回300円
大型バス:1回1,200円



最新情報はウェブサイトかSNSをご確認ください

- ウェブサイト <http://www.museum.city.nagoya.jp/>
- Facebook <https://www.facebook.com/nagoya.city.museum>
- Twitter <https://twitter.com/nagoyashihaku>

1階 特別展示室・部門展示室

特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催しています。



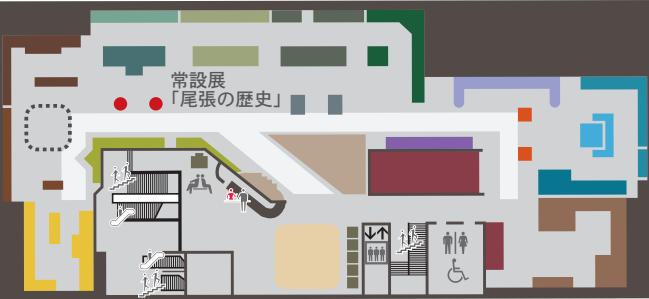
オーギュスト・ロダン作「考える人」
「考える人」の像の前で記念撮影ができます。

ミュージアム・ショップ
オリジナル・グッズ、歴史書などを販売。



2階 常設展「尾張の歴史」

2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。



時代

テーマ

日本の国の成りたち

貴族の世の中

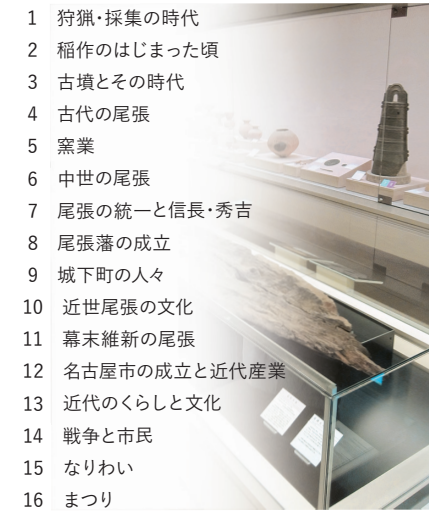
武士の世の中

武士の世の中

近代

現代

- 1 狩猟・採集の時代
- 2 稲作のはじまった頃
- 3 古墳とその時代
- 4 古代の尾張
- 5 窯業
- 6 中世の尾張
- 7 尾張の統一と信長・秀吉
- 8 尾張藩の成立
- 9 城下町の人々
- 10 近世尾張の文化
- 11 幕末維新の尾張
- 12 名古屋市の成立と近代産業
- 13 近代のくらしと文化
- 14 戦争と市民
- 15 なりわい
- 16 まつり

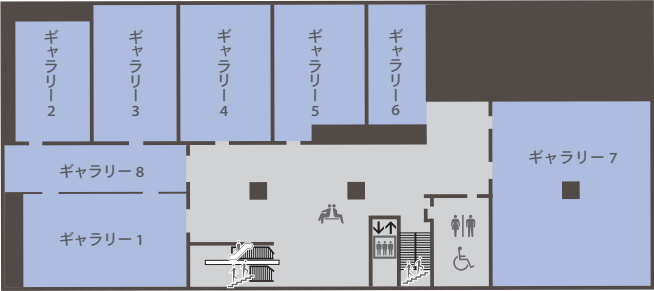


※常設展示室内の「フリールーム」では小規模な企画展示を開催しています。
また、テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこなっています(裏面参照)。「話題のコーナー」やその他のテーマも随時展示替えをおこなっています。

※ボランティアによる解説をおこなっています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

3階 ギャラリー

市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。



■ 博物館サポーター募集 ■

- 入場割引 企画展・常設展の入場無料。特別展は当日料金の半額割引。
- 特 典 広報モニター会招待・館外見学会・館事業情報の案内送付など。
- 年会費 正サポーター 3,000円 家族サポーター 2,000円

本年度の特典の内容は、新型コロナウイルス感染症等の影響で今後変更される場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

■ 分館利用案内 ■

名古屋市蓬左文庫

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
電話 052-935-2173 FAX 052-935-2174

- 開館時間 10時～17時(入室は16時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日
(祝日の場合は直後の平日)
特別整理・年末年始休館(12月13日～1月3日)
- 観覧料 一般 1,400円 高大生 700円 小中生 500円(徳川美術館と共通)
- 交 通 【名古屋駅より】
市バス基幹バス2号系統・名鉄バス(栄経由)
「徳川園新出来」下車、徒歩3分
【なごや観光ルートバス メーグル】
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ
【大曽根より】
JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分



名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053 名古屋市中村区中村町茶ノ木25(中村公園文化プラザ2階)
電話 052-411-0035 FAX 052-411-9987

- 開館時間 9時30分～17時
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)
第4火曜日(祝日を除く)
館内点検休館(12月6日～13日)
年末年始休館(12月27日～1月3日)
- 観覧料 無料
- 交 通 【名古屋駅より】
地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分
市バス名駅25系統・中村巡回「豊国神社」下車、徒歩2分



1/4

企画展

浮世絵で旅気分



幕末に浮世絵をいろうとした北斎や広重の浮世絵風景版画を紹介しします。尾張家13代・幼君徳川慶城の墓の副葬品であった風景版画も紹介し、浮世絵師が何を伝えたかったのかを探ります。

1/30

企画展

年中行事の今と昔



日本の年中行事には現在にも息づく行事もあれば、今では失われてしまった行事もあります。江戸時代の版本や絵画などを中心に、年中行事の変容をたどります。

2/5

企画展

年中行事の今と昔



日本の年中行事には現在にも息づく行事もあれば、今では失われてしまった行事もあります。江戸時代の版本や絵画などを中心に、年中行事の変容をたどります。

4/3

企画展

年中行事の今と昔



日本の年中行事には現在にも息づく行事もあれば、今では失われてしまった行事もあります。江戸時代の版本や絵画などを中心に、年中行事の変容をたどります。

2021.4-2022.3

名古屋市博物館

名古屋市蓬左文庫

名古屋市秀吉清正記念館

